

## 2 / 1 (月) の行事

はじめよう、つづけよう。

「**新北海道スタイル**」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル



報道発表資料の配付日時 1月22日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度(2020年度)第2回知床世界自然遺産地域科学委員会適正利用・エコツーリズムワーキンググループ会合</li> <li>令和2年度(2020年度)第2回知床世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議の開催について</li> </ul>		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>標記について、次のとおり開催しますので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 令和3年(2021年)2月1日(月)</p> <p>(1) 10:30~12:30 知床世界自然遺産地域科学委員会 適正利用・エコツーリズムワーキンググループ会合</p> <p>(2) 14:00~16:00 知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議</p> <p>2 会場 小清水町 多目的研修集会施設(愛ホール) 多目的ホール (斜里郡小清水町元町2丁目1番1号 TEL: 0152-62-2311)</p> <p>※ それぞれの会議の概要については、別紙を参照願います。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議は公開で行いますが、1月28日(木)12時までに、お申し込みいただくようお願いします。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、風邪のような症状がある場合は、取材をご遠慮いただくとともに、会場へ入室する際は、手指消毒の実施、マスクの着用をお願いします。</li> <li>新型コロナウイルス感染症への懸念を考慮し、ZOOMを使用してWEBでも傍聴いただけます。(接続確認のため、お申し込みいただいたメールアドレスへ事前に連絡します。)</li> </ul> <p>事前申込 TEL: 0152-26-7665</p> <p style="text-align: center;">担当: 知床財団 新藤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料は、当日会場で配布します。</li> </ul>		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	環境省釧路自然環境事務所から発表 林野庁北海道森林管理局から発表
担当	環境生活部環境局自然環境課(担当者: 片原) TEL: 直通011-204-5204 内線24-354		
担当	環境省釧路自然環境事務所国立公園課(担当者: 高辻、森田) TEL: 直通0154-32-7500		

知床世界自然遺産地域科学委員会 適正利用・エコツーリズムワーキンググループの設置について

1. 目 的

知床世界自然遺産地域の適正な利用及びエコツーリズムの推進を図り、多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継ぐとともに、良質な自然体験を提供するため、必要な科学的助言を得ることを目的として、知床世界自然遺産地域科学委員会・設置要綱第4条第4項に基づき、適正利用・エコツーリズムワーキンググループを設置する。

2. 構 成

○委 員

(科学委員会委員)

愛甲 哲也 北海道大学大学院農学研究院 准教授  
石川 幸男 弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 教授  
敷田 麻実 北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 教授【座長】

(特別委員)

庄子 康 北海道大学大学院農学研究院 准教授  
高橋 満彦 富山大学人間発達科学部人間環境システム学科 教授  
中川 元 公益財団法人知床自然大学院大学設立財団 業務執行理事  
間野 勉 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部  
エネルギー・環境・地質研究所 専門研究主幹

○地元自治体

斜里町  
羅臼町

○事務局

北海道  
環境省釧路自然環境事務所  
林野庁北海道森林管理局

○オブザーバー

国土交通省北海道運輸局

3. 運 営

○WGは、知床世界自然遺産地域連絡会議 適正利用・エコツーリズム部会と合同で開催（「知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議」とする。）することができる。

○WGには、必要に応じて、委員以外の専門家に対し、WGへの出席を求めることができる。

## 知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議の設置について

## 1. 目的

知床世界自然遺産地域の適正な利用及びエコツーリズムの推進を図り、多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継いでいくため、学識経験者、関係行政機関、地域関係団体による検討会議を設置する。

## 2. 検討会議の構成

検討会議は、「知床世界自然遺産地域科学委員会 適正利用・エコツーリズムWG」と「知床世界自然遺産地域連絡会議 適正利用・エコツーリズム部会」の合同開催により組織する。

事務局は環境省釧路自然環境事務所、林野庁北海道森林管理局、北海道が務める。また、検討会議の座長は、適正利用・エコツーリズムWG座長が務める。

## ○適正利用・エコツーリズムWG委員

愛甲 哲也	北海道大学大学院農学研究院 准教授
石川 幸男	弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 教授
敷田 麻実	北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 教授【座長】
庄子 康	北海道大学大学院農学研究院 准教授
高橋 満彦	富山大学人間発達科学部人間環境システム学科 教授
中川 元	公益財団法人知床自然大学院大学設立財団 業務執行理事
間野 勉	北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所 専門研究主幹

## ○適正利用・エコツーリズム部会

## ①地元関係機関

ウトロ地域協議会、知床斜里町観光協会、知床羅臼町観光協会、知床ガイド協議会、(公財)知床財団、知床自然保護協会、斜里山岳会、羅臼山岳会、羅臼遊漁釣り部会、知床小型観光船協議会、知床羅臼観光船協議会、(一財)自然公園財団知床支部、知床ウトロ海域環境保全協議会

## ②関係行政機関

斜里町、羅臼町、北海道、環境省釧路自然環境事務所、林野庁北海道森林管理局

## ③オブザーバー

国土交通省北海道運輸局

## 3. 検討会議の進行等

検討会議は座長が招集し、議事進行を行う。また、検討会議は原則として公開する。